

こどもに手を援けたいと皆さまへ

蒸し暑い日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしですか？  
プレパークもフリースクールも、子どもたちの水遊びが始まりました。  
フリースクールでは先日、海に行きました。1お母は「足だけ入る」と  
言っていた子も、帰る頃にはビチャビチャになって楽しんでいました。

夏の海や川は童心(まあ、みんな現役の子どもですが...)に還って  
無邪気さを取りもどすには欠かせない場所だと感じています。

そして夏といえばお祭りですよね。石巻最大のお祭り“川開き祭”  
が8月上旬に催されますが、今そこに出店するために、子どもたちと  
話し合いがされています。目標金額35万円! その利益を合宿  
費用にあてようとしています。もししたら、2年越しの夢“ハワイ  
アンス”への旅が実現するかもしれません。

5~6年前までやってきた“本気の子ども商人”復活です!!

働くという本験だけでなく、目標に向けて一緒に汗を流す、この  
プロセスが子どもを育ててくれるのだと思います。

石巻近郊の方は是非のぞいてみてください!!

夏バテ、熱中症に気をつけて、楽しい夏を過ご  
されることをお祈りします

石巻より感謝を込めて

田中雅子

こどもの感ばにー



# だんごむし



こども  
無限  
感ぱにー

～いつも仲間と一緒にいて、驚くとココロ丸くなると可愛。だんご虫は、子ども達の大切なお友達～

## 空飛ぶくじら号と最後のドライブ

ぼはっくの子どもたちを海や森、合宿で遠くまで連れ出してくれたり、子どもの送迎をしてくれた“空飛ぶくじら号”が引退しました(お別れ会の様子は P7をご覧ください)。

空飛ぶくじら号との最後の日、みんなで海に遊びに行ってお飯を食べ、びちょびちょになって帰ろうとした時、栈橋で遊んでいた子どもが「カメがいる！」と大騒ぎしました。他の子どもと行ってみると、死んだアカウミガメが波打ち際に浮かんでいました。体長 1m 近くあるアカウミガメを見るのは、子どもた

ちは初めてで、「あんな大きなカメがいるんだ～」「目が大きくてかわいい」「どこから来たんだろう」など大興奮でした。

お出かけすると毎回のよう、想定していないエピソードがたくさん起こります。

新たな発見や、人の優しさとの出会い、みんなで同じものを見て経験するたくさんの思い出…

いつもそこには“空飛ぶくじら号”がいてくれたね。そんな“空飛ぶくじら号”の活躍を少しだけご紹介しますね♪



車内にお絵かき

雨の日は車内で

暑い日は屋根を装着!

2016年までは、プレーパークへは毎週末。仮設住宅には月に2回訪れ、子どもたちはくじら号が来るのを待ちわびていました

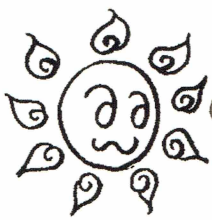
4mの木材だって運べちゃう

みんなと一緒にどこまでも♪

2016年からはぼはっくの活動でも一緒。合宿や秘密基地の材料を運んだことも…

代表理事 田中雅子

☆認定 NPO 法人こども無限感ぱにー(愛称:こどもぱにー)とは…  
2011年の東日本大震災後、宮城県石巻市の地域の大人とともに子どものあそび場づくりをきっかけに活動が始まりました。私たちは“子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに”を理念に、地域のみんなと一緒にプレーパークやフリースクール事業などを行っている団体です。



# スタッフ紹介



4月からこども∞感ぱにースタッフとして渡波地区放課後児童クラブで働いている仲間を紹介します！  
児童クラブの委託運営から早3か月。登録児童が100人を超える児童クラブで、日々子どもたちの「いま」とガチンコで関わる6名のたくましいスタッフです。(6人目のかっちゃんの自己紹介は次ページに！)  
多様な経験を持つフレッシュで個性豊かな自己紹介をご覧ください！ (なおたろう)



## 米倉 勝巳(よねよね)

はじめまして、米倉勝巳と申します。よねよねと呼ばれています。出身は登米市で、去年3月に東京から移住してきました。4月から児童クラブで勤務させていただいています。子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりに携われることに、とてもやりがいを感じています！趣味は読書で、特に今村翔吾の作品が大好きです。どうぞ宜しくお願い致します。

## 横山 彰子(ふった)

『ふった』こと横山彰子と申します。鹿妻小、中里小を経て渡波小に来ました。柴犬とソフトクリームと〇が大好きで、ほぼ『くまモン』と同じ大きさです。子ども達から、一緒に居て楽しいし安心だと言われる支援員でたいです。どうぞよろしく願い致します。

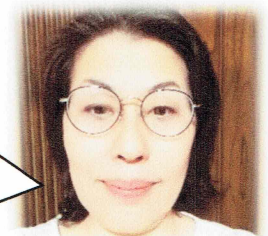


## 吉川 結衣(ゆいちゃん)

はじめまして、吉川結衣と申します。子ども達やスタッフのみんなと一緒に子どもたちが自分らしくいられる、自分らしくいてもいいんだと思える場所を作っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

## 立花 秀美(たっちゃん)

小・中学校の養護教諭をしていました。児童クラブは学校とは違った子どもの顔を見ることができ、日々驚きの連続です。猫と犬を飼っていますが、時々猫が脱走することが悩みです。

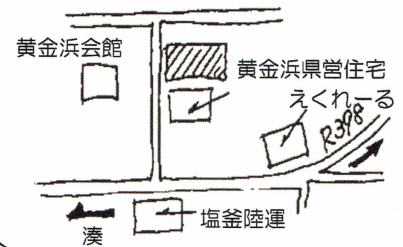


## 高梨 萌都(もっさん)

新春号(Vol.37)に登場したもっさんこと高梨萌都です。この度放課後児童クラブのスタッフとして携わらせていただくことになりました。みんなのお兄ちゃんとして子どもに寄り添いながら、子どもと一緒に成長していこうと思います。これからよろしくお願いします。

# プレわたのほ

毎週土・日曜日 10:00~16:00  
毎週金曜日 15:00~17:00  
所在地:石巻市渡波字黄金浜 157



## 🌀: 木っ端だって僕らには遊び道具だぁ～

地元の建設会社さんから、家を建てる時や解体するときに出る端材を子どもたちの遊びのために使って欲しいとプレわたで定期的にいただいています。本当にありがとうございます。



いただいた大量の木っ端がプレわたに来ると子どもたちは大盛り上がり！「俺、椅子が作りたい！」「これ焚き火で燃やしていいの！？」「ドミノ倒しやる！」など子どものやってみたい気持ちに火をつけまくりました🔥  
最初は積み木のように積んで遊んでいるだけだったのに、そこから柱を1本抜いてジエンガのように遊んだり、長い木っ端は木刀にして色を塗ったり、ただひたすらヤスリで削ってツルツルにしてみたり。  
普段は捨ててしまうような木っ端でも、子どもたちにかかれば素敵な遊び道具に大変身！  
子どもの持ち前の発想力と創造力が大爆発していました！（わこう）

## 🌀: つくって、とばして、紙飛行機大会！

地域の大人としてこどばにーに関わってくれている、工作系 youtuber の「あきばこさん」が紙飛行機工作教室 & 大会を開催！

ストローと画用紙とテープだけでできる簡単設計だけれども、実はとても奥深い。テープをつける重さによって綺麗に飛ぶか、墜落するかの差が生まれてしまうので、子どもたちはテープをつけては飛ばして重さを調整しての試行錯誤の繰り返し。

「こんなの綺麗に飛ばせねぇよ！」と最初は投げやりだった子も、何回も自分で試行錯誤をしてやっと綺麗に飛ばせたときには達成感に満ちた顔をしていました！

「実際に自分で試行錯誤をする楽しさを感じてほしい」との思いで開催してくれたあきばこさん。

こんな素敵な大人たちに囲まれてプレわたの子どもたちは日々成長しております！

（わこう）



## 🌀: かっちゃんからのご挨拶



放課後児童クラブにもプレわたにも関わっています！

みなさんはじめまして！勝又大海(かつまた ひろみ)です。プレわたと放課後児童クラブに携わっており、みんなから「かっちゃん」と呼ばれています。

昨年の10月からプレわたにはボランティアとして入っていたのですが、ボランティアの回数を重ねるうちに、子どもたちが自分で考えて自由に遊ぶことを支えるプレーワーカーってかっこいいなという思いや親でも学校の先生でもない第三の大人として子どもたちに関わっていきたいという気持ちが強くなり4月からこどばにーのスタッフとして仲間入りしました。

こどばにーのスタッフとして、遊んでいる子どもが何を見つめ・何を感じているのかを大切にしながら、子どもが安心してのびのびと育つための環境の一部になっていければと思います。これからよろしくお願いします。

## 「行ってみたい」から見学へ！

宮城県動物愛護センターの見学に行きました。  
見学に行くきっかけは「動物愛護センターに行  
ってみたい」という一人の子どもの声。  
事前にタブレットで全国の殺処分数や捨てられ  
た犬猫について調べる中で、沢山の疑問が出  
てきました。「動画で見たけれど、実際どんな場  
所なのかな。」「どうして殺処分されてしまうの  
だろう。」質問をまとめた紙を持って、いざ宮  
城県動物愛護センターへ。

引き取り手を待っている成猫や子猫を、「飼い



たい～」と話しながら見学。

「猫を引き取るなら、大人の猫がいい」と話す子  
もいました。「どうして？」と聞くと、「大人の猫は引き  
取り手が少ないから」とのこと。少しでも殺処分か  
ら救いたいという気持ちが伝わってきました。

施設の方の話を聞きながら、「どうして猫は保護さ  
れないのに、たくさん殺処分されているのか」や  
「殺処分をするのに、どうして愛護センターという  
名前なのか」といった鋭い質問を積極的にする子  
どもたちにスタッフも感動しました。

積極的に里親探しを行ったり、飼い主さんの意識が  
変わってきているため、殺処分数は年々減ってき  
ているのだそう。ぼはっくにも様々な生き物に触  
れる機会があるけれど、命を大切に連れ合っ  
ていきたいね♪

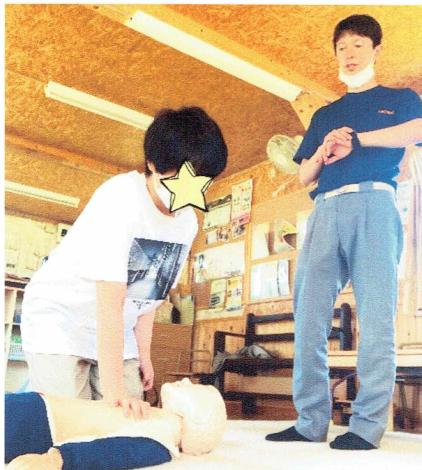
(もっちゃん)



## 一人ひとりがバイスタンダー！

消防士の方をお呼びして、ぼはっくの子たちとプレーパークを利用するお母さんたちとの合同救命救急  
講習を開催しました！

消防士さんの分かりやすい講習をいつになく集中して受ける子どもたち。胸骨圧迫や人工呼吸、AED の  
使い方など、人の命を助ける技術を学びました。「AEDがある時も心臓マッサージは続けるんですか？」



と分からないことを自ら質問する子もいて、その姿は真剣そのもの。  
また、救急車を呼んでから到着するまで平均 8 分かかると言われて  
おり、参加者全員でその 8 分間心臓マッサージを続けるという実践  
練習も行い、実際の動きをイメージすることができました。

今回の講習で学んだことは、普段の生活で活用されることは少ない  
と思われま。しかし、いざという時に人を助ける方法を知っておく  
ことは大切で、子どもたちはそれを実感できた様子でした！

この講習は一度受けたら良いというものではないと思います。今後  
も定期的開催し、人を助けられるような人になってほしいです^^

(ロッキー)



# うほほ〜い ぴかりっぴ

学校に行かない・行けない子どもについて、けるがメッセージをお届けするコーナーとしてここでは、彼らを“ピカリちゃん”と呼びますね。理由はどんな子どももピカリと輝いているから

## 「安心感」は周りが理解することから… 其の6

学校に行けない、行きたくない…そう悩みながら頑張る学校に通って、最後に頑張りの糸が切れた子どもの心は疲れ果てています。その子どもには、なによりも休養が必要です。

そして、それは「安心感」という心の休養です。「安心感」を得るには、周りに味方がいること。会報誌 Vol.36 でも紹介しましたが、子どもの気持ちを理解してくれる味方が必要です。

我が子が学校に行かない選択をした時、思い悩む保護者の方から相談が入ります。

「先週から学校に行かなくなったので、こちらのフリースクールに通わせたいんです」

因みにうちのフリースクールは、子ども自身が通いたいと思った時初めて登録できます。なので、子どもの様子と保護者の想いをじっくり聞いた後、「お子さんが家でじっくり休養して、外に出てみたい、友達つくりたい、勉強したいと思った時に見学に来てください。本人の気持ちが一番大切なんです」と答えます。

でも、これまではこんな子どももいました。自分でフリースクールを調べ、お母さんに「私はここに行く」と宣言してきた子。フリースクールに何度か顔を出し、母親にプレゼン

するためにパンフレットを持ち帰った子どももいます。たくましいですよ(笑) 今、自分で学校以外の学びの場を選べるのが、何よりも必要なんじゃないかな。

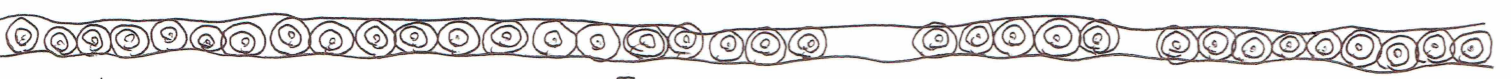


今年の4月、石巻市に公設公営の施設、学びサポートセンター“COIL”ができました。

これまでは、学校を通じての申し込みでしたが、学びの場・相談窓口の門を、ピカリちゃん親子がいつでもたたくことができます。

先日、所長さんといろいろとお話したところ、“子どもを真ん中”においた、とても素晴らしい考えをもった方で感動してしまいました。

子どもには選択肢が必要です。その一つとして“COIL”を記憶に留めておいて欲しいです。(ける)



## いつかみんな映画鑑賞♪

みなさんは『夢みる校長先生』という映画を知っていますか？

私は先日、オンライン上映で観ました。そこで5人の公立の校長先生の取り組みや考え方に触れることができました。

通信簿のない小学校、校則は生徒が決める中学校。

「え〜っそれって本当に公立？」って思ってしまうような学校ばかりでした。

今年度に入って、県教委の義務教育課の方、東部教育事務所の方、そして市教委の学校教育課の方など、『不登校』の子どものことを考える方々がほぼついに視察に来てくれました。

現場を見ていただきながら、子ども自身が考え、決断し行動することで自らが育っていくことをお話させていただきました。

いつか、みなさんとこの映画を鑑賞しながら、あーだこーだ言いながら語りたいな〜♪ (ける)



# ピルパグ ひがこ

開催日:水曜日  
15:00~17:00

所在地:石巻市鹿妻南 2-7

## 武器屋さん、開店です。



最近、ひがこで流行っている遊び。それは武器づくり&チャンバラです！  
その中でも大はまりしているのは R くん。学校から帰ってきたら毎回真っ先に大工コーナーに向かい、新しい武器をつくり、武器をパワーアップさせたり。開催の度につくっているの、その子の武器づくり技術はどんどん上手になっていきます。

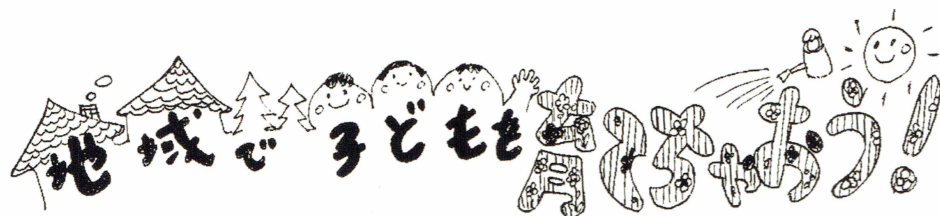
そしてついには「俺、大工マスターした！」と見事なのこぎりや釘打ちを披露。それを見ていた友だちは「すごい！そしたら俺の武器もつってくれ！」と彼に武器づくりを依頼していました。

友だちに褒められて嬉しくなった彼は「いいよ！」と得意げに新しい武器を作り始めました。その様子を見ていた友だちは手際に感動し、「お前、武器屋さんだ

な！」と絶賛。つくった武器もその手際もさらに褒められ彼もまんざらでもない様子でした。

そんなわけで今ひがこでは彼がつくった武器で盛大なチャンバラが行われております！

(わこ)



**●渡波かたろう会**  
渡波かたろう会は、「自分たちも楽しみながら渡波をよくしていこう」という思いを持った地域の仲間の集まりです。

## 🌱「ゴミをみのがさない作戦」、開始！

昨年度、地域のゴミ拾いに参加した小学3年生の男子。それ以来、通学路にゴミが落ちていることがずっと気になり自主的にゴミを拾っていたそう。それでも地域にはかわらずゴミが落ちていて、どうにかできないかと悩んでいました。そして今年、小学4年生になった彼は「ゴミをなくすために地域の大人と一緒にゴミ拾いをしたい！」と彼自身が考えた「ゴミをみのがさない作戦」を渡波かたろう会メンバーに提案。



渡波かたろう会のメンバーは彼の熱意に感動し、作戦の決行に大賛成！昨年度に彼が参加したゴミ拾いを行った地域の区長さんも喜んで協力してくれました。

そして作戦決行日。

彼はゴミ拾いの先陣を切るだけではなく、道路は危ないからと大人たちを整列させたり、歩くペースが遅い人が追いつくのを待ってあげたりと、隊の大人たちを気遣ってくれる最高のリーダーとなっていました！

そんな彼の行動に心動かされ、途中から参加する子どももいました。

彼の最終目標は「渡波を日本で一番キレイなまち」にすること。

次はいつやろうね。これからの彼の活躍に期待大！

(わこ)

# 同じ“思い”をもつ 人たちの

# ネットワーク活動

## みやネット

心地よい空気がこち良い。

●多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク  
(愛称:みやネット)

県内のフリースクールや不登校親の会6団体で2019年4月に設立。

教育機会確保法を基に、多様な学びの環境やその必要性を官民がともに学び、不登校の子どもと親をサポートする仕組みを考える任意団体です。

これまで、県教委と様々な会議で対話をさせていただきました。そして5月は、県議会議員の中島さんと畠山さんの計らいで義務教育課とみやネット合同の懇談会が開かれたので出席してきました。

今回は、私たちから見えている当事者の子どもや保護者の声、課題についてお伝えしましたが、これまでの話し合いとは少し違う空気を感じました。

ここ数年、『官民の連携』がうたわれてきましたが、真の連携は、官民の信頼関係があって初めて成り立つも

のだと思います。それがなければ、大切な子どもをお互い任せられないものね。

その信頼関係が形になっていきそうな…そんな空気。子どもを真ん中に、本当の連携をしていきたいと心から思います。(ける)

# 空飛ぶくじら号

12年間お疲れさまでした♡

東日本大震災からずっと、子どもたちの遊びと居場所の活動を支えてくれた“空飛ぶくじら号”が7月1日に引退しました。

私にとって“空飛ぶくじら号”は、震災から共に歩んできた仲間、時には疲れた身体を休める居場所でした。

広い荷台には、私の生活用品や布団を載せて、いろんなところで寝泊まりもしたね♪

プレーパークにまだ建物がなかった時代、子どもたちの寒さを凌ぐ場所や秘密基地になってくれた。

長野まで子どもを乗せて、サバイバルキャンプに何回も行ったね。

いつも私たちを乗せて運んでくれた♡

先日のお別れ会には、常連の子どもや震災当時から一緒に活動してきた地域の人も来てくれて、車体にメッセージや絵を描くなど、思い思いにお別れをしました。

「くじら号の存在はけるちゃんその

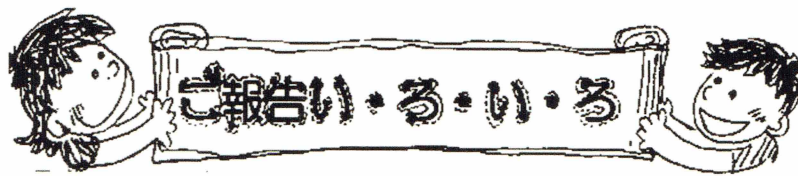


もの」と、昔から活動を見守ってくれた人がコメントくれたけど、本当にそうだなあ。身体の一部がなくなる感じだよ。

『色』がなかった震災当時の街は、あなたが走ることで明るくなったんじゃないかなあ  
みんなみんな、たくさん元気をもらったよ  
一緒に活動してくれてありがとう。そしてお疲れ様







## 子どもたちのこれからを考える仲間たち

こどぱにーの第 8 回通常総会が無事終了しました。今年、正会員 28 名のうち 15 名が参加しました。

『資金調達』の動きについて正会員に共有することができ、みんなで子どもたちやこどぱにーのこれからについて、一緒に考えるきっかけになりました！

また、総会後には普段お世話になっている方やこどぱにーを応援して下さる方々と交流会を開催！コロナ禍ではできなかった交流の場。



## 石巻の不登校の現状を伝えるに西ロータリークラブさんへ

今年の活動のテーマは“発信”。プレーパークやフリースクールを通じて子どもの居場所活動をおこなっていますが、これは『セーフティーネットの場』です。

もちろんこの役割は大きいのですが、根本的な課題解決には、多くの人に現状を伝え、一緒に考える機会をつくるのが大切だと思っています。

その一環として今回、それに賛同してくれた方のご尽力で、メンバーの皆さんにお話しする機会をいただきました。

「どうして不登校になるのか」「こんなにも石巻に不登校児童生徒がいたと知らなかった」といった声をいただき、知らなかった人に伝えていく必要性を感じました。

西ロータリークラブのみなさん、貴重なお時間をいただきありがとうございました。(けろ)

## 進化させるのは大人の役目

一般社団法人フリースペース道が主催する親の会が大崎市でおこなわれました。

テーマは『考える力をもつ子どもたち』

不登校になると誰よりも悩み不安を感じているのは子ども自身。私たち大人の役目は、子どもの可能性を信じて、必要な時にサポートすることです。

そして、『不登校』という言葉があることが、子ども自身を否定していること。

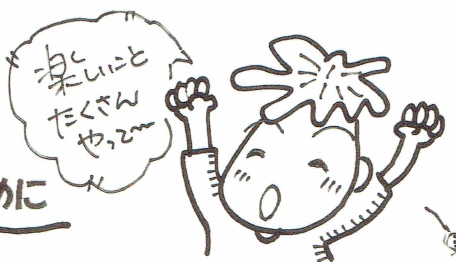
子どもには、学ぶ権利があります。そして今、そこには“選択肢”が必要なこと

これらに進化させていくことも大切な大人の役割ですよね～とお話させていただきました。(けろ)





## 今の活動の継続のために… 次の活動を展開するために



ここ数年、こどばにーの課題の一つは“持続可能な組織運営”

震災から10年が過ぎた頃から、これまで活動を支えてくれた民間の助成金が減り、あと2年程度で助成金はほぼなくなります。

数年前から資金調達方法を、『助成金中心』から『寄付や継続サポーター(元賛助会員)』という形でみなさんに支えていただいています。もう少し頑張らねばなりません。

目標金額は、2025年までに1200万円！

今年度から資金調達チームを結成して動き始めています。

専門家曰く、こどばにーのような小さな組織が1200万円を目標にするのは“奇跡”だそうです。でもこれを実現しないことには、プレーパークとフリースクールに来る子どもの行き場所がなくなるのか…

そう思うとやるしかない！そんな気持ちです。

そこで今回はチームをつくり、かなり真剣に動いています。

みなさんにもお知恵の拝借や、マンパワーをお借りすることもあると思います。その時は力を貸してください。よろしくお願いします

### 資金調達チーム



# のびちび母時記

プレーパークわたのはで出会った乳幼児親子の群れ“のびちび”の記録



## お下がり交換祭

6月のある日お下がり交換祭を開催しました。

オープンに開催するのは久しぶり。たくさんの親子が遊びに来ました。

仕事を始めて平日に出来なくなった親子は他の親子との再会を楽しんでいました。旦那さんの転勤でお引越しが決まった母は、断捨離ができて喜んでいました。そして、初めておさがり会に参加したという親子。大量の服から自分好みのものを掘り出すのは宝探しのようなワクワクがあります。子どもにとっても、日頃は母の好みと相談になりがちな服選びがここでは自分で掘り出して自由に選べるチャンスでもあります。

最近は、着なくなった服は、フリマアプリで売れたり、市による回収など、さまざまなリサイクルの方法を選択できるようになりました。でも、ひと手間かけて仲間とお下がり交換会をするとちょっといいことが。ふとした時に、自分の子が着ていた服を年下のお友達が着ている場面に出会い、懐かしい思い出が蘇ることがあります。思い出のものを共有することでなんだか大きな家族になれた気持ちなれていいものです。

(えりっちょ)



# 事務局からのお知らせ



## 2022 年度会計報告



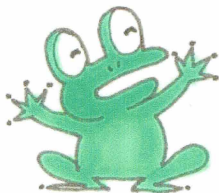
### 【収入の部】

正会員受取会費	115,000
賛助会員受取会費	1,419,000
受取寄付金	3,613,413
継続サポーター費	10,425
受取寄付金振替額	407,489
受取助成金振替額	13,662,082
自主事業収益	1,406,582
その他の収入	509,233
合計	21,143,224

### 【支出の部】

事業費	22,103,369
管理費	566,282
合計	22,669,651
収入－支出	△1,526,427

2022 年度も、残念ながらマイナス計上でした。これは、これまでの繰越金で補ってんしています。85 名の賛助会員（継続サポーターを含む）、延 56 名のご寄附、101 名のみやぎチャレンジプロジェクトへの募金、Yahoo 募金、募金箱の設置など、たくさんのご支援・ご協力をいただきました。決算の詳細はHPをご覧ください。（みー）



みなさまのご支援・ご協力により  
こどぱにーは活動を継続できます。  
本当にありがとうございます。



## クラウドファンディングに挑戦！



こどぱにー設立当初より活躍してきた「空飛ぶくじら号」を、残念ながら手放すこととなりました。修理に修理を重ねて、共に歩んだ「くじら号」。子どもたちを合宿など様々なところへ連れて行ってくれたり、木材などの材料を運んでくれたりと、こどぱにーには無くてはならない愛車でした。しかし、ボディの腐食が進み、トランクが素手では開けられなくなったり、窓が自然と開いたり和不具合がでてしまいました。



そこで、「空飛ぶくじら号第 2 号」(仮)を購入するために、こどぱにーではクラウドファンディングに挑戦します。

**目標金額は 200 万円！**子どもたちが安心して乗車し、新たな体験ができるように、力を貸してください。

同封のチラシの QR コードより、ご協力をお願いいたします。

※くじら号お別れ会の様子は P7 をご覧ください。

(みー)

こどぱにー通信「だん子むし」発行元

認定 NPO 法人こども∞感ぱにー

宮城県石巻市鹿妻南 2-1-7

Mail: info@codopany.org

Tel: 070-2436-8517 (事務局)

HP: <https://codopany.org/>



### <継続サポーター募集中>

月額 300 円から、継続サポーターにご登録できます。確定申告をすると、税制優遇によりご支援額の最大約 **50%** が還付されます。詳しくは、事務局までお気軽にお問合せください。

活動の様子を配信していますので、是非ご覧ください！

Twitter Facebook

こどぱにー

検索



(みー)